

高松市立川添小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな感性と知性をもち 心身ともにたくましい児童の育成
～よく考える子 やさしい子 たくましい子～

【本校の課題】

- 多くの学年で、男女とも、ほぼ全種目で、県・全国平均を下回っている。
- 外遊びや運動への意欲の高い児童が少ない。
- 運動習慣が定着していない。

【現状】

休み時間等には、主に低学年の子どもたちが外で遊ぶことが多く、高学年が外で遊ぶ姿は、あまり見られていない。鬼遊び、遊具遊びが多い。一部ではボール遊びをしている。体育の授業においては、担任ごとに学習内容を設定して授業を行っている。

【取組み】

縦割り班「ふれあい活動」の活用

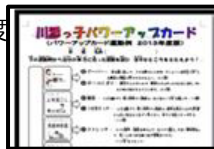
ペア学年で一緒に運動（ペア追いかっこ・ボール投げ・遊具遊び）を行い、上学年がお手本として意識したり、下学年がまねしたりすることをねらっている。そして、運動の意欲付けにつなげる。

クラスマッチを設定し意欲付け

これまでの運動会の走力クラスマッチに加えて、各学年で種目や内容を設定した水泳・なわとび・ボール運動のクラスマッチを行っている。

パワーアップカードによる自主的な運動の推進

新体力テストの結果や普段の運動経験から、児童一人ひとりが自分に合った運動を選択し、自主的に運動に取り組めるようにする。また、カードを7枚達成した児童にはスポーツ賞を渡し、意欲向上につなげる。



児童主体の運動イベント企画

委員会の児童による、運動に関する遊びなどのイベントを企画・運営を行い、全校生で運動遊びに取り組むようにする。

例：マラソンの日本一周
長縄大会



【目標】

- 体育授業を中心に、運動の楽しさや達成感を感じることができるようにし、運動好きな児童の育成や運動習慣の形成、体力向上等を図り、主体的に体育活動に取り組む児童の育成をめざす。